

ワクチンパスポートとはなにか——定義と各国の状況——

鈴木英仁¹

2021年6月28日

ワクチンの接種が各国で始まる中、ワクチンパスポートと呼ばれる制度が世界的に注目を集めている。本稿では、ワクチンパスポートがいかなる制度でありどのように定義されるのか、また各国でどのように運用され、どのような議論が提起されているのかを紹介する。

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックが続く中、ワクチンの供給開始に伴い、「ワクチンパスポート」と呼ばれる証明書制度が注目を集めている。ワクチン接種歴や検査の陰性結果などを記録し、感染拡大リスクの低い人には海外渡航や娯楽施設の入場などの自由な行動が許可されるというのが制度の骨子である²。

コロナ以前の生活を（部分的ながらも）取り戻す手段としてワクチンパスポートにかかる期待は大きく、各国で続々と制度の導入が始まっている。その一方で、様々な反対意見も上がっており、まだ議論は続いている。本稿では、ワクチンパスポートとはいかなる制度であるのか、またどのように定義されるのかについてまとめた上で、諸外国での導入・運用状況と議論状況を紹介する。

2. ワクチンパスポートとはなにか

先に確認したとおり、ワクチンパスポートは、第一義的には、ワクチンの接種歴など、パスポートの保持者の健康情報を記録・証明する証明書である。証明「書」といっても、スマートフォンアプリを用いたデジタル形式が主流であり、その場合、アプリでQRコードを表示しそれを読み込むという仕組みが用いられている。ただし、なんらかの理由でスマートフォンを使用することが難しい人のために、オプションとして紙媒体の証明書も発行される場合が多い。国や制度によって違いはあるが、パスポートの対象者には、ワクチンを接種した人、一度新型コロナウイルス感染症に感染して自然免疫を獲得したと考えられる人、PCR検査や抗体検査で陰性判定を受けた人々などが含まれる。

¹ 京都大学文学研究科修士課程。Contact: info@ethics.bun.kyoto-u.ac.jp

² Ada Lovelace Institute, “Checkpoints for vaccine passports”, 2021, p. 3. (Available at: <https://www.adalovelaceinstitute.org/report/checkpoints-vaccine-passports-exec-summary/>) 最終アクセス日 2021年6月27日、以降参照のウェブサイトについても同様。

そして、健康情報の記録・証明に加えて、ワクチンパスポートが持つ重要な機能は、「パスポート」という名称が示唆するように、記録した健康情報をもとに、感染リスクが低いと考えられる人に（比較的）自由な行動を許可することである³。許可される行動も国や地域によって様々であるが、隔離期間なしでの入出国やカフェ・レストランでの食事、スポーツジムの利用、スタジアムでのスポーツ観戦などである。

3. 「ワクチンパスポート」という名称について

日本のメディアでは、「ワクチンパスポート」の名称がよく用いられている。だが、この名称は次の二つの点でミスリーディングである。

第一に、先に見た通り、ワクチンパスポートの対象者には、ワクチンを接種した人以外にも、自然免疫を獲得したと考えられる人や、検査で陰性判定を受けた人々などがしばしば含まれる。このことを考えると、「ワクチン」パスポートという呼称は不正確であろう。

第二に、ワクチン「パスポート」という呼称は、海外渡航目的だけに利用されるかのような印象を与える可能性があるが、その目的だけに限定されるわけではなく、国内での飲食店や娯楽施設の利用許可にも使用される場合がある。したがって、そのような誤解が生じないように注意する必要があるだろう。日本では「年間パス」などの表現があるが、この「パス」の使い方が近いと考えられよう。

また、「パスポート passport」と呼ぶべきか「証明書 certificate」と呼ぶべきかについても議論がある。「パスポート」という呼称は、先に指摘したとおり、海外渡航にのみ用いられるかのような印象を与える。一方、「証明書」という呼称も、こうした制度が単なる証明書ではなく、行動の許可と規制を伴うことを見えづらくしてしまうという欠点があり、一長一短である⁴。

イスラエルでは、青信号になぞらえて「グリーンパス Green Pass」という名称が用いられているほか、EUの制度は「COVID 証明書 COVID Certificate」と呼ばれるなど、各国で様々な呼称が用いられている。2021年6月にはWHOがこうした証明システムを総称して“Digital Documentation of COVID-19 Certificates(DDCC)”と呼ぶことをアナウンスしたが⁵、統一的な呼称は存在しないのが現状である。

4. 各国の状況

◆ イスラエル

³ Ada Lovelace Institute, pp. 31-32.

⁴ Ada Lovelace Institute, p. 23.

⁵ World Health Organization, “Revised scope and direction for the Smart Vaccination Certificate and WHO’s role in the Global Health Trust Framework.” 4 June 2021. (Available at: <https://www.who.int/news/item/04-06-2021-revised-scope-and-direction-for-the-smart-vaccination-certificate-and-who-s-role-in-the-global-health-trust-framework>)

イスラエルは、迅速なワクチン接種に基づき、2021年2月に世界で初めて「グリーンパス」と名付けられた国内向けワクチンパスポートを導入した。対象者は、ワクチンを2回接種した人（'fully vaccinated'の状態にある人）と、新型コロナウイルス感染症に一度感染して完全に回復した人で、保健省が作成したアプリを用いてグリーンパスを提示することで、映画館やスポーツジムなどのレジャー施設への入場や、飲食店の屋内での食事が許可された⁶。

なお、イスラエルでは、新規感染者数の減少を受け、マスク着用義務を含むほとんどの行動規制が6月1日より解除され⁷、その際にワクチンパスポート制度も廃止された⁸。イスラエルの国立コロナウイルス担当センターのチーフであるトーマス・ロータンは、ワクチンパスポートは成功したプロジェクトであり、とりわけ16歳から40歳の人々にワクチン接種の動機付けを与え、安全な経済活動の再開を可能にしたと高く評価している⁹。

◆ アメリカ

アメリカでは、連邦レベルでのワクチンパスポートの導入は現在のところ否定されているが¹⁰、州によって見解がはっきりと二分されている。

最もワクチンパスポート導入に積極的であるニューヨーク州では、州独自の「エクセルシオールパス」が既に導入されている。提示することで、スタジアムでの野球観戦など、人が密集するイベントに参加することができる¹¹。

一方で、南部の諸州は、全体的にワクチンパスポートに対してきわめて否定的であり、アリゾナ、カリフォルニア、フロリダ等の10を超える州がワクチンパスポートの使用を法的に禁じている¹²。反対の根拠としては、ワクチンを接種しない自由を侵害

⁶ Reuters, "Israel to ease more COVID curbs, launch leisure 'Green Pass' on Feb.21." 16 February 2021. (Available at: <https://www.reuters.com/article/health-coronavirus-israel-int-idUSKBN2AF1RG>)

⁷ The New York Times, "With most adults vaccinated and case numbers low, Israel removes many restrictions." 1 June 2021. (Available at: <https://www.nytimes.com/2021/06/01/world/middleeast/israel-covid-restrictions.html>)

⁸ 本記事執筆時点では再び感染者数が増加しており、規制の復活が予想される。

⁹ Ibid.

¹⁰ BBC, "Covid: US rules out federal vaccine passports." 6 April 2021. (Available at: <https://www.bbc.com/news/world-us-canada-56657194>)

¹¹ なお、現在ニューヨーク州では社会的距離の確保などの行動規制がほとんど解除されており、スタジアムの入場の際もパスの提示は求められていない。

¹² 各州の対応について、詳しくは次の記事を参照されたい。US News, "These State Have Banned Vaccine Passports." 1 June 2021. (Available at: <https://www.usnews.com/news/best-states/articles/which-states-have-banned-vaccine-passports>)

するといったものや、私的な健康情報の提示がプライバシーの問題を引き起こすといったものが挙げられている¹³。

◆ EU

EUは、域内の移動の際に使用できる証明書“EU Digital COVID Certificate”を7月1日より導入し、加盟国すべてで利用可能となる予定である¹⁴。ワクチンを2回接種した人、陰性の検査結果を受けた人、コロナウイルス感染症から完全に回復した人が対象で、証明書の保持者は、EU加盟国圏内での入出国時の隔離や検査などがすべて免除され、完全に自由な移動が可能となる。

◆ イギリス

イギリス政府は、ワクチンパスポートの導入に関して態度を二転三転させている。本年2月頃には、ワクチンパスポートの導入について否定的であると報道されていた¹⁵。その理由として、ワクチン担当大臣は、ワクチンが感染に与える影響が不透明であること、差別に繋がることなどを挙げていた。だが、4月頃にはNHSのアプリを用いたデジタルワクチンパスポートを国内においても法的に義務化することを検討していると報道された。ところが、先月末には、保守党や市民団体からの強い反対を受け、イギリス政府がワクチンパスポートの国内導入を断念したと報じられている¹⁶。

イギリスでは、現在いわゆるデルタ株の影響により感染が再拡大しており、6月21日に予定されていたイングランドのロックダウン緩和が延期されるなど、大規模な行動規制が継続している。

◆ その他の諸国

ここまでは、概ね順調にワクチンの接種が進んできた先進国を取りあげてきたが、発展途上国では事情が全く異なる。例えば、アフリカではワクチンの完全な接種が完了しているのは人口の1パーセント未満であり¹⁷、世界には大きなワクチン供給の不平等が存在する。

¹³ Office of the Texas Governor, “Governor Abbott Issues Executive Order Prohibiting Government Mandated Vaccine Passports.” 6 April 2021. (Available at: <https://gov.texas.gov/news/post/governor-abbott-issues-executive-order-prohibiting-government-mandated-vaccine-passports>)

¹⁴ European Commission, “What is the EU Digital COVID Certificate?”. (Available at: https://ec.europa.eu/info/live-work-travel-eu/coronavirus-response/safe-covid-19-vaccines-europeans/eu-digital-covid-certificate_en)

¹⁵ BBC, “Covid: Minister rules out vaccine passports in UK.” 7 February 2021. (Available at: <https://www.bbc.com/news/55970801>)

¹⁶ Reuters, “UK vaccine passport plans to be scrapped – The Telegraph. 31 May 2021. (Available at: <https://www.reuters.com/world/uk/uk-vaccine-passport-plans-be-scrapped-telegraph-2021-05-30/>)

¹⁷ BBC, “Covid-19 Africa: What is happening with vaccine supplies?” 22 June 2021. (Available at: <https://www.bbc.com/news/56100076>)

こうした中、多くの発展途上国では、ワクチンパスポートの国際利用に対する強い反対の声が上がっている。インドがG7の保健相会合にて公的に反対意見を表明したほか¹⁸、アフリカ疾病管理予防センター長も否定的な見解を表明している。ワクチンを確保できていない地域がある中でのワクチンパスポートの導入は、極めて大きな国家間不平等を作り出すというのがその理由である¹⁹。

また、WHOは、2020年4月より、一貫してワクチンパスポートに対して慎重な姿勢を取り続けている²⁰。根拠としては、ワクチンの効果、とりわけ他者への感染の防止効果についてエビデンスが不十分であること、および不平等を悪化させ差別を引き起こす可能性があることを挙げられている。ただし、2021年6月には、ワクチンパスポート制度がいかに使用されるべきかについてのガイダンスを提供する予定であると発表している²¹。

5. おわりに

以上、簡単ではあるが、ワクチンパスポートがいかなる制度であるのか、および諸外国の状況について概観してきた。現状では、ワクチンパスポートの活用について国際的な統一基準が存在するとは言えないし、またワクチン供給の格差による不平等やプライバシーの問題など、考慮すべき倫理的問題も多い。今後も引き続き活発な議論が必要であるように思われる。

¹⁸ Hindustan Times, “India opposes ‘vaccine passport’, Harsh Vardhan says idea ‘discriminatory.’” 4 June 2021. (Available at: <https://www.hindustantimes.com/india-news/india-opposes-vaccine-passport-harsh-varshan-says-idea-discriminatory-101622826648951.html>)

¹⁹ Independent, “Africa CDC says vaccine passports ‘inappropriate’ for now.” 8 April 2021. (Available at: <https://www.independent.co.uk/news/africa-cdc-says-vaccine-passports-inappropriate-for-now-south-africa-uganda-kenya-astrazeneca-india-b1828427.html>)

²⁰ World Health Organization, “‘Immunity passports’ in the context of COVID-19.” 24 April 2020. (Available at: <https://www.who.int/news-room/commentaries/detail/immunity-passports-in-the-context-of-covid-19>); World Health Organization, “Statement on the seventh meeting of the International Health Regulations (2005) Emergency Committee regarding the coronavirus disease (COVID-19) pandemic.” 19 April 2021. (Available at: [https://www.who.int/news/item/19-04-2021-statement-on-the-seventh-meeting-of-the-international-health-regulations-\(2005\)-emergency-committee-regarding-the-coronavirus-disease-\(covid-19\)-pandemic](https://www.who.int/news/item/19-04-2021-statement-on-the-seventh-meeting-of-the-international-health-regulations-(2005)-emergency-committee-regarding-the-coronavirus-disease-(covid-19)-pandemic))

²¹ World Health Organization, “Revised scope and direction for the Smart Vaccination Certificate and WHO’s role in the Global Health Trust Framework.” 4 June 2021. (Available at: <https://www.who.int/news/item/04-06-2021-revised-scope-and-direction-for-the-smart-vaccination-certificate-and-who-s-role-in-the-global-health-trust-framework>)